



地域新聞

ひまわり



ひまわり共同保育所

長岡京市一文橋二丁目39-9
075(952)4177

No.48 2009.11

ひまわり共同保育所『秋のフェスティバル』にご支援・ご協力いただきありがとうございました！



10月18日(日) ひまわり共同保育所『秋のフェスティバル』に多数ご来場いただきありがとうございました。

当日は晴天に恵まれ、フェスティバル開始前から多くの方が集まっていたいただき盛大にフェスティバルを開催できたことを嬉しく思います。また子供達の姿も数多くみられ、楽しんでいる様子を見て、地域に密着したイベントであることを実感いたしました。フェスティバルには、日用品・古着のバザー、おもちゃ・遊びのコーナー、食べ物コーナー等を開催いたしました。バザーのコーナーでは日用品は飛ぶように売れ、古着は終了間近まで買い物されていました。遊びのコーナーでは火おこしに熱中する子供の姿や、紙飛行機で遊ぶ姿を見うけました。食べ物コーナーでは毎回好評の焼きそば、から揚げに加え沖縄そば・おきなわ丼など数多くのメニューで来客者のお腹を満たせたことでしょう。



11時からは、前回も登場のアフリカ音楽ユニット【NAVEGUNTE(ナベガンチ)】による演奏でイベントを盛り上げてくれました。



このように、ひまわり共同保育所のフェスティバルが開催できるのは、地域の方々のご理解、ご協力があるからこそだと思います。野添公園付近の住民のみなさま、当日ご来場いただいたみなさま、またバザー用の品物を保育所に提供していただいた方、本当にご協力ありがとうございました。対応が不十分な点、多々あったとは思いますが、今後ともひまわり共同保育所の活動へのご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



2009年10月
秋のフェスティバル実行委員長 木村 治郎
ひまわり共同保育所 所長 山中 澄子

いっしょに遊ぼう

※ 毎週水曜日

ひまわり共同保育所に

am 10:00 ~ am 12:00

※ 対象年齢は

1才から

※ 参加費 200円

※ 給食費 200円

※ 汚れて良い服で来てね!!

※ 着替えとタオルを持って来てね!!

小さいお子さんをおもちのお母さん、ひまわりの

元気いっぱいな子供たちと一緒に遊ばせませんか?

うたを歌ったり、リズムをたったり、楽しいこといっぱい!!

お散歩へもいっしょに行きましょう☆

お昼には一緒に給食を食みましょう。

お友達いっしょにできます!! ぜひ気楽に遊びに

来て下さい♡ 3名まで受けつけます。

必ず電話で予約をして下さい。

TEL 952-4177

イニフルエニサ等ごやむを得ずおこたひする
ことありますのでご了承ください

ひまわり
の種

今回から『地域新聞』には
から、『地域新聞 ひまわり』に

変わりました。

ひまわり共同保育所が出している
新聞と分りやすくおためです。

これからひまわりを
よろしく願います。

ひまわりの子のママに聞く!

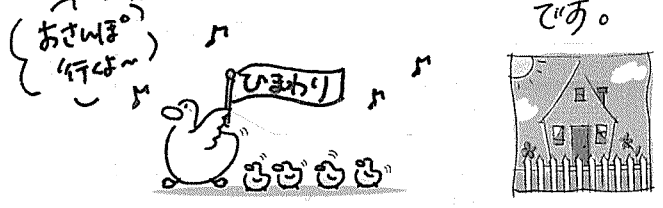
「ひまわり共同保育所」ってどんなところ??

アウトホームなひまわり

ひまわり共同保育所の子供たちは、普通の軒下家で過ごしています。他の保育所の不業に、広い園庭もホールもありません。でも先生達が工夫をして、『フックン』『お祭りがき』『ダンス』等々、家庭の様な温かい雰囲気の中で生活をしています。庭で育てたトマトなどを収穫してみんなで食べたり、園庭がなくても、毎日近所の公園に散歩に出かけ身体を沢山動かしています。気候の良い日には遠方まで足をのばす事もあったり...

先生達も親見の目線で子供と関わってくれていて子供達は家庭の中にいるかの様に、のびのびと元気一杯に生活をしています。親見も色々子供のことを相談したり、アドバイスを聞いてもらったりと...安心して子供達を預けられています。

「ただいまー」と帰ると『おかえりー!』と子供達と先生達の温かい声でむかえられ、ホッコリします。そんな家庭的な温かいひまわり共同保育所です。



ひまわりには安心して子供をおまかせられます



ひまわりが「無認可保育所」ということで不安を感じる人も多いだろう。しかしひまわりが認可されていないのは、長岡京市が認可の基準としている広い敷地がないなどの理由^{から}であって、安全面での問題ではない。

母親の実感からいって、ひまわりほど安心して子供をおまかせられる場はめったにない。

ひまわりは小規模だから、全ての子どもに保育士の目が届いている。「0才児については子ども3人に対し保育士1人」という基準ももちろん満たしている。

私は生後4ヶ月から娘をひまわりにおまかしている。初めは少し不安だったが、温かく見守られてのびのび育つ娘を見て、ひまわりを選んでよかったと思う。

行政からの助成が少ないため保育料が高いのが残念だが、ひまわりを選んでよかったと思う。

うんどう会を終えて

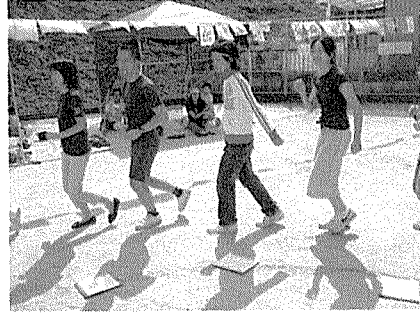
ひまわり共同保育所 にじかぜ組 藤原実緒

9月27日(日)に柴の里公園で、第18回「うんどうかい」を行いました。ひまわりには園庭がないため、うんどう会は毎年、柴の里公園をお借りしています。当日は、7ヶ月から4歳の子どもまで16人が参加、そして、家族、親戚など、子どもから大人まで80人近い方々が来て下さいました。



入場行進では、子どもたちが大好きな「崖の上のポニョ」の曲に合わせて、まだ歩くことのできない子どもたちはベビーカーに乗り、他の子どもたちは、ともだちと手をつないで歩いていきます。大勢の観客の中からお母さんやお父さんたちの姿を見つくと、ちょっとはにかんで下を向いてしまったり、あるいは大きく手を振ったりしていました。そして、元気に体操をし、うんどう会の歌を歌い、競技に入ります。

ほし組(0,1歳)の子どもたちの一番の見せ場は、マットの上をハイハイしてトンネルをくぐったり、斜面を滑ったり、登ったり、ボールを拾って穴の中に入れる等、いつも保育所でしているあそびです。這ったり、歩くだけでも「かわいい!」と声が聞こえ、子どもたちは、大勢の観客が見守られながら、ニコニコと色々なあそびをしていました。2~4歳のにじかぜ組の子どもたちになると、梯子や平均台を渡ったり、ろく木をよじ登ったり、高いところからジャンプをしたりするので、ダイナミックな動きに「おお~!」と歓声が上がります。



また、『かけっこ』をしたり、『ミッキーマウス体操』を踊ったり、保護者参加のプログラムも数多くありました。ひまわりのうんどう会の名物でもある『座布団取り』は保護者の部だけではなく、今年は、ひまわりを離れた子どもたちによるOBの部もあり、大いに盛り上がり、子どもたちもお父さん、お母さんたちががんばっているのを笑いながら見ていました。人数が少なく、年齢も小さい子どもたちですが、保護者や兄弟と一緒に、リレーや玉入れをしたり、輪になって踊り、全員が楽しめるうんどう会となりました。柴の里公園の近所の方々には、色々ご迷惑をかけましたが、ここにお礼申し上げます。

